

ヘルパー号管理機

取扱説明書

K252 K452



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してく
ださい。



関東農機株式会社

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明しています。
ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が秀れた性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をするためにこの冊子をご活用ください。
また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあった時には取出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全 第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られたの表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

-  **危険**：注意事項を守らないと死亡または重傷を負うことになるものを表示します。
-  **警告**：注意事項を守らないと死亡または重傷を負う危険性があるものを表示します。
-  **注意**：注意事項を守らないとけがを負うおそれがあるものを示します。

目 次

安全に作業するために	1
警告ラベルとその取扱い	6
サービスと保証について	8
仕様、緒元	9
各部の名称	10
上手な運転のしかた	11
運転まえの準備	11
《給油・脂表》	11
エンジンの始動	13
操 作	14
エンジンの停止	14
使用上の注意	15

安全に作業するために

管理機の取扱いは正しく、ちょっとした油断がもとで、思わぬ事故を招くことがあります。安全で能率的な作業を行うために、次のことをお守りください。



警告 こんなときは運転しない

1. 体の調子の悪いとき
2. 酒を飲んだとき
3. 妊娠しているとき
4. 16才未満の人

〈守らないと〉

死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。



警告 作業に適した服装

1. はち巻・首巻・腰タオルは厳禁
2. だぶつきのない服装
3. ヘルメットなどの防護具の着用

〈守らないと〉

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告 他人に機械を貸すときは取扱い方法を説明する。

取扱い方法を説明し、使用前に取扱い説明書を必ず読むように指導してください。

〈守らないと〉

死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。



警告 機械の改造禁止

純正部品や指定アタッチメント以外の部品を取付けないでください。
機械を改造しないでください。

〈守らないと〉

死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。



注意 点検・整備を行う

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。
定期の点検・整備をかならず受けてください。

〈守らないと〉

事故・ケガ・機械の破損を招く恐れがあります。



安全に作業するために



警告

ロータリー作業ではダッシュに注意
土が硬かったり石の多い場所ではロータリーをゆっくりと
地面に降ろして下さい。回転する爪の勢いで機械が思わぬ方向に
飛び出す（ダッシュ）ことがあります。

〈守らないと〉

傷害事故を引き起こす恐れがあります。



警告

ハウス内での作業は換気を充分にする。
排気ガスが充満しないように充分換気を行って下さい。

〈守らないと〉

排気ガス中毒を起こし、死亡することがあります。



警告

子供を近付けない
子供には十分に注意しロータリーに乗せたり
近付けないようにして下さい。

〈守らないと〉

傷害事故を引き起こす恐れがあります。



警告

バック耕禁止
管理機のハンドル正位置でロータリーが作業者の
直前になるような後進作業は行わないで下さい。
バックけん制装置のあるものは必ず取付けて下さい。

〈守らないと〉

転倒したりして死亡事故や重大な障害を負う危険があります。



警告

ロータリーカバーの下に足を踏み入れない。
ロータリーが回転しているときにロータリーカバーの下に手足を
入れて回転部に触らないで下さい。

〈守らないと〉

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告

後進する時はハンドルの跳ね上がりに注意
後進する時はハンドルが跳ね上がり足元ガロータリー爪軸に
近付き大変危険ですハンドルを押さえて後方を確認し速度を
低速にして主にクラッチはゆっくりと操作して下さい。

〈守らないと〉

足がロータリーに巻き込まれたり、体が障害物との間に
はさまれたりして死亡事故や重大な傷害を負う危険があります。

安全に作業するために



警告

点検・整備は平坦な場所で行って下さい。
機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で
タイヤに輪止めをして行って下さい。

〈守らないと〉

機械が転倒するなど、思わぬ事故を招く恐れがあります。



警告

点検・整備中はエンジン停止。
点検・整備・修理・または掃除を行うときはエンジンの
回転を停止してください。

〈守らないと〉

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告

カバー類は必ず取り付ける。
点検整備などで取り外したカバー類は必ず元通りに
取付けてから作業してください。

〈守らないと〉

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告

下にもぐったり、足を入れない
ロータリーの点検・整備をするときは、下にもぐったり
足を踏み込んだりしないで下さい。

〈守らないと〉

ロータリーが下がったとき傷害事故を追う恐れがあります。



危険

燃料補給、注油時は火気厳禁。
エンジンを停止し、くわえタバコ、裸火照明は
絶対にしないこと。

〈守らないと〉

燃料に引火し火災を引き起こす恐れがあります。



警告

爪に巻き付いた草などを取り除くときは
管理機のエンジンの回転を停止する。

〈守らないと〉

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告

尾輪の調整は浅めに設定（爪と尾輪の差が耕深5cmまで）
しボルトは調整後確実に締め付けること。また、適時に緩みなきよう
確認してください。

〈守らないと〉

機械がダッシングを起こしたりすることがあり重傷を負う危険があります。

安全に作業するために



危険

燃料キャップを閉め、こぼれた燃料はふき取る。
燃料を補給した後は、燃料キャップを確実に閉め、こぼれた燃料をきれいにふき取ってください。

〈守らないと〉

燃料に引火し火災を引き起こす恐れがあります。



警告

排気ガスには十分に注意する。
締め切った室内ではエンジンを始動しないでください。
エンジンは風通しの良い屋外で始動してください。やむをえず屋内で始動する場合は十分に換気してください。

〈守らないと〉

排気ガス中毒を起こし、死亡事故にいたる恐れがあります。



注意

マフラーの高温に注意
運転中及びエンジン停止直後のマフラーは高温です
触れないでください。

〈守らないと〉

ヤケドをする恐れがあります。



警告

マフラー、エンジン周りのゴミは取り除く
マフラー、エンジン周辺にゴミ、ワラズ、燃料が
付着していないか毎日作業前に点検してください。

〈守らないと〉

火災事故を引き起こす恐れがあります。



警告

坂道、アユミ板の上では変速禁止
適正な速度段を選択し、坂道やアユミ板の上では
主クラッチを切ったり変速をしないでください。

〈守らないと〉

事故を引き起こす恐れがあります。



警告

運搬は天井のない車を使用する。
運搬は荷台に天井のない車を使用し、後退するときは
後方に注意し低速で行ってください。

〈守らないと〉

ハンドルと天井の間などにはさまれて事故を引き起こす
恐れがあります。



安全に作業するために



警告

作業機を装着するときは、
作業機の取扱い説明書を読む
作業機を装着するときは、事前にならず作業機の
説明書を良く読んで理解して下さい。

〈守らないと〉

傷害事故や機械の破損を引き起こします。



警告

作業機の着脱は平坦な場所で行う。
作業機の着脱は平坦で安定した場所で行って下さい。
夜間は適切な照明をしてください。

〈守らないと〉

傷害事故や機械の破損を引き起こします。



警告

溝、あぜ越えは、アユミ板を使用する
ほ場に入るとき、溝、あぜを渡るとき、軟弱な所を通る時は、
幅、長さ、強度のあるアユミ板を使用してください。

〈守らないと〉

転倒やスリップによる事故を起こす恐れがあります。



警告

積み降ろしは、上りは前進、下りは後進で
丈夫な、すべり止めをしたアユミ板を確実に固定し、上りは
前進、下りは後進でロータリーの爪等を引っ掛けないように
注意し周囲に人がいないことを確かめ低速で行って下さい。

〈守らないと〉

転落などの事故を引き起こす恐れがあります。



注意

シートは機械が十分に冷えてから掛ける
機械にシートを掛ける場合は、マフラーやエンジンが
充分冷えてから掛けて下さい。

〈守らないと〉

火災事故を引き起こす恐れがあります。

☆本製品の使用目的

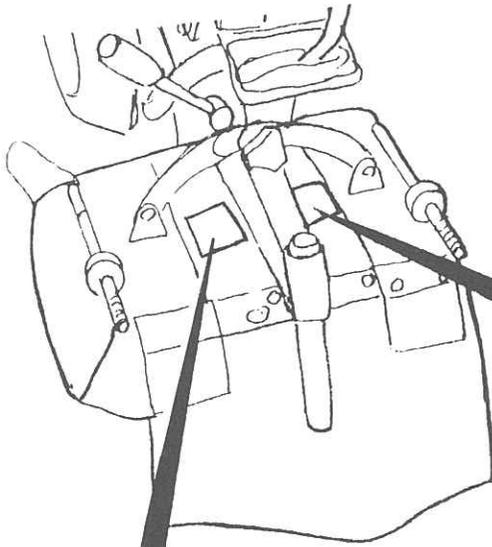
本製品は農業用の管理作業機です。ほ場での管理作業にご使用下さい。
使用目的以外の作業や改造は絶対にしないでください。

⚠ 安全に作業するために

警告ラベルとその取扱い

【ラベルのメンテナンス】

- (1) 警告ラベルは、いつもきれいにしておいて傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全にふき取り乾いた面にして元の位置に貼ってください。



品番 220121020831000

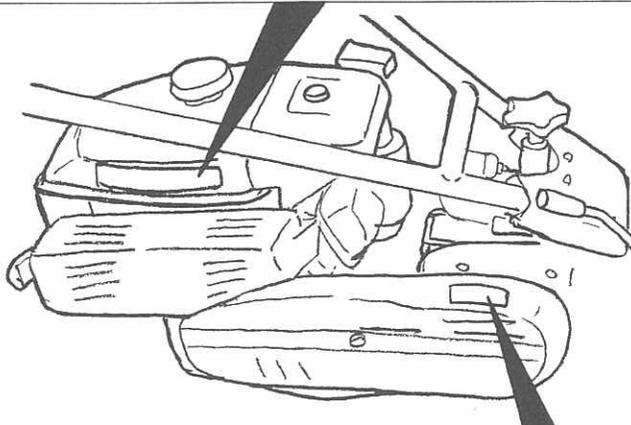


品番 220121020832000

⚠ 安全に作業するために

 注意 KW56070AA	マフラー高温注意  さわるとやけどをするおそれがあります。	 警告	排ガスに注意  室内や換気の悪い所での運転は人体に有害で危険です。
--	--	---	---

品番 KW56070AA



 注意		巻きこまれるおそれがあるので、このカバーをはずしたままエンジンを始動しないこと。 点検、整備後は、必ずカバーを装着すること。
---	--	---

品番 236100000452000



 危険	 火気 厳禁
<ul style="list-style-type: none"> ● 給油時は必ずエンジンを停止して下さい。 ● 給油口に火を近づけると火災の危険があります。KW56069AA 	
 無鉛ガソリン	

品番 KW56069AA

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 取扱説明書をよく読んで、正しい取扱いをし、安全な作業をすること。 ● エンジンを始動する時は、主クラッチレバーを「切」にすること。 ● 積み降ろし、ほ場の出入り、坂道などでは遅い車速で運転すること。 ● 作業中は、周囲に人を近づけないこと。後進時は後方を確認すること。 ● 点検、整備をする時は、必ずエンジンを停止すること。
---	--

品番 236100000451000

サービスと保証について

保証書について

お客様が保証修理を受けられる場合に必要となるものです。

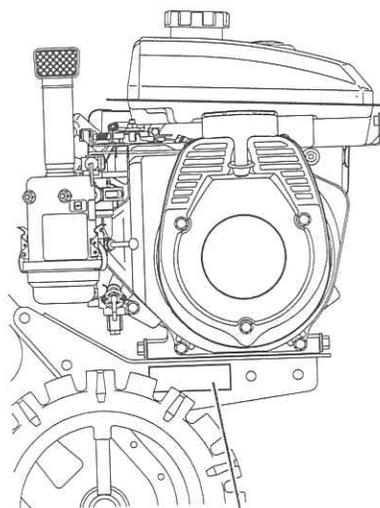
良くお読みになって大切に保管してください。

■アフターサービスについて

管理機の調子が悪いときに点検処理してもなお不具合があるときは、お買い上げの販売店又は当社に直接ご連絡ください。

その際に連絡して頂きたい内容

- 管理機の型式名
- 管理機の製造番号
- エンジンの型式名と製造番号
- 故障の内容（できるだけ詳しく）
 - 1、どんな作業していましたか
 - 2、どのくらい使いましたか（アール、または時間）



型式名、
製造番号

安全鑑定適合番号
ヘルパー号 K25F-19051



エンジン番号

仕様、諸元

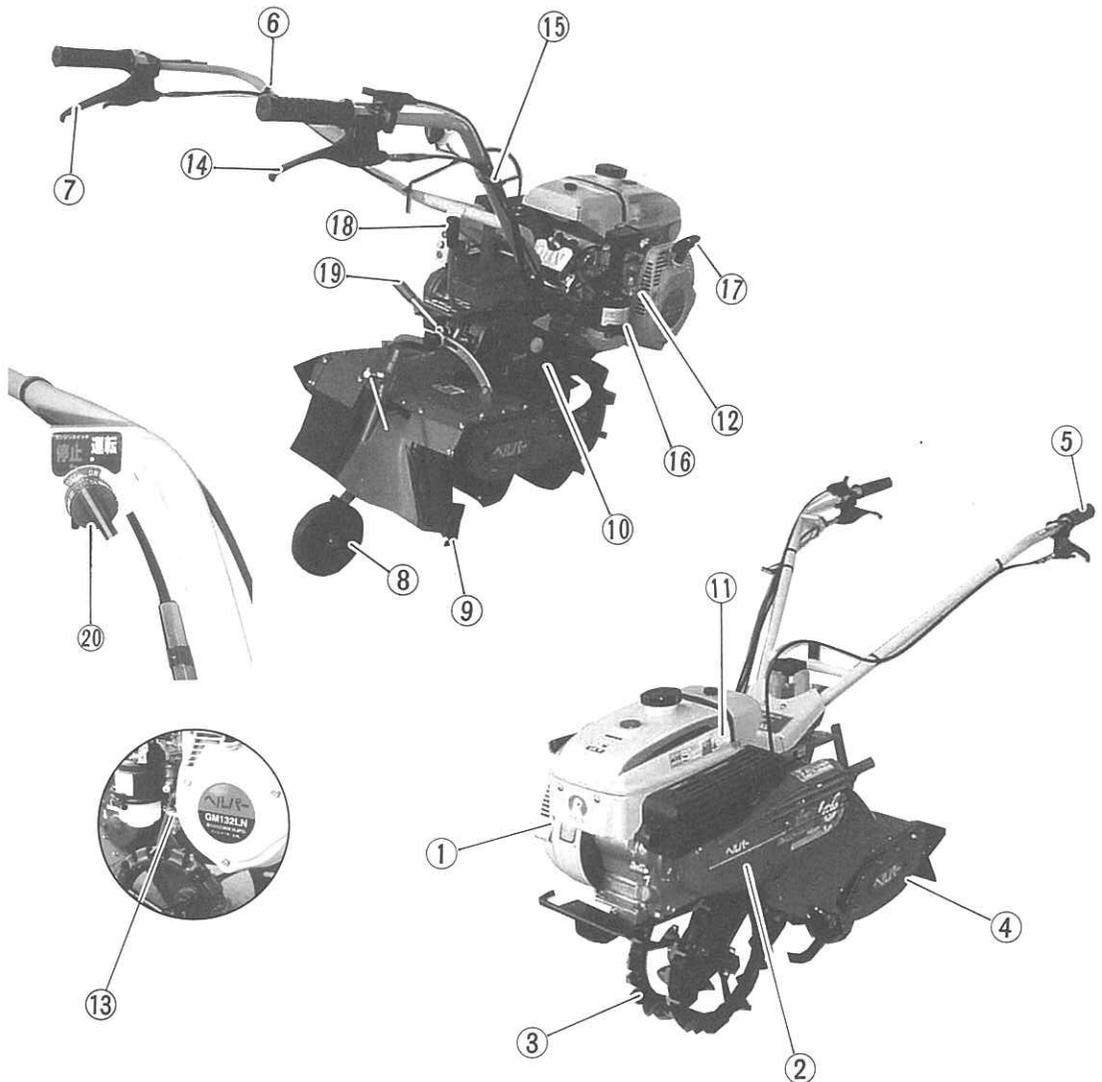
型 式		K 252				K 452
区 分		L	M	F	R	R
機 体	全 長 (mm)	1,152	←	1,300	←	←
	全 幅 (mm)	600	←	←	←	←
	全 高 (mm)	827	←	900	←	←
	重 量 (kg)	49	←	51	←	52
エ ン ジ ン	型 式 名	GM132LB	←	←	←	GM132LN
	総 排 気 量 (cc)	89	←	←	←	126
	出力/回転数 (ps/r.p.m.)	2.2/1800	←	←	←	2.8/1800
	最 大 出 力 (ps)	2.7	←	←	←	4.0
	燃料タンク容量 (ℓ)	3.0	←	←	←	←
	始 動 方 式	リコイル スタータ	←	←	←	←
車 輪 (mm)	ゴム車輪 300	←	←	←	←	
主 ク ラ ッ チ 方 式	ベルト テンション	←	←	←	←	
速 度	前 進	1 段	←	2 段	1 段	←
	後 進	1 段	←	1 段	2 段	←
爪 回 転 軸 数	正 回 転 (r.p.m.)	283	340	315	419	←
	逆 回 転 (r.p.m.)	316	380	372	355	←
耕 う ん 幅 (mm)	300	←	←	←	←	

※ 本仕様は予告なく変更することがあります。

各部の名称

1. エンジン
2. ベルトカバー
3. 車輪
4. ロータリ
5. ハンドル
6. スロットルレバー
7. 主クラッチレバー
8. 尾輪
9. 爪
10. ミッション

11. マフラー
12. チョーク
13. 燃料コック
14. ハンドル上下レバー
15. ハンドル回転ノブ
16. エアークリーナ
17. リコイルスタータ
18. 変速レバー（前・後進）
19. ロータリ変速レバー（正・逆転）
20. エンジン停止スイッチ



上手な運転のしかた

1 運転まえの準備

① ボルト・ナットの点検

- エンジン・ホイールハブ・ハンドルなどの各部取付けボルト・ナットの締付けを点検します。

② 給油・注油

- 各給油箇所には工場から出荷のときオイルが入れてありません。給油・脂表に従って給油します。

- 搭載しているエンジンの給油、注油については別添取扱説明書を参照して下さい。

《給油・脂表》

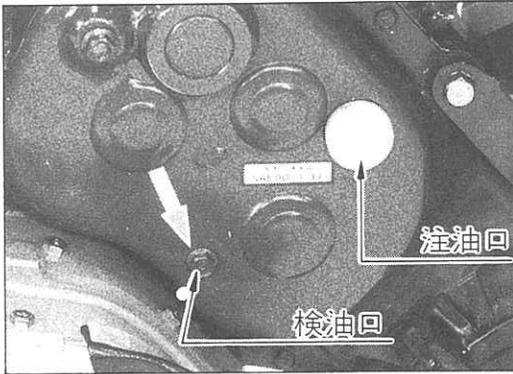
No.	給油脂箇所	油種	箇所数	所要量	交換時期
1	ミッションケース (ロータリケース)	ギヤーオイル	1	1.3 ℓ	年1回 (新車25時間で)
2	各ワイヤーレバー類	エンジンオイル	1	適量	始業時注油
3	尾輪軸	エンジンオイル	1	適量	始業時注油

- (注) イ. エンジン運転中、またはエンジン停止直後の過熱しているときの燃料補給は厳禁です。
- ロ. 給油・点検するときには、必ずエンジンを停止してからおこなってください。
- ハ. 給油・点検するときには、機体を水平な場所に置いておこなってください。
- ニ. 各給油箇所には、必ず規定量給油してください。
- ホ. オイル交換は、作業後、オイルが暖いうちにおこなうとオイルにゴミが混った状態で排出できます。

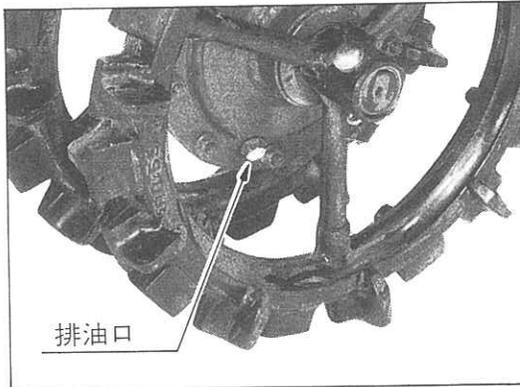
① ミッションケース

ケース右側の注油口よりキヤーオイルを規定量給油して下さい。(写真3、4)
機体を水平にした状態で検油口よりオイルが流れれば規定量です。

ギヤーオイル…………… 90#
規定量…………… 1.3 ℓ



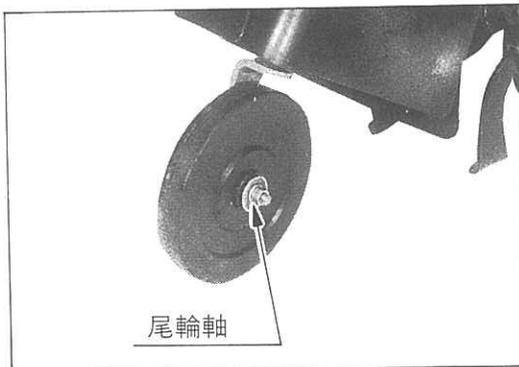
③



④

② 尾輪軸

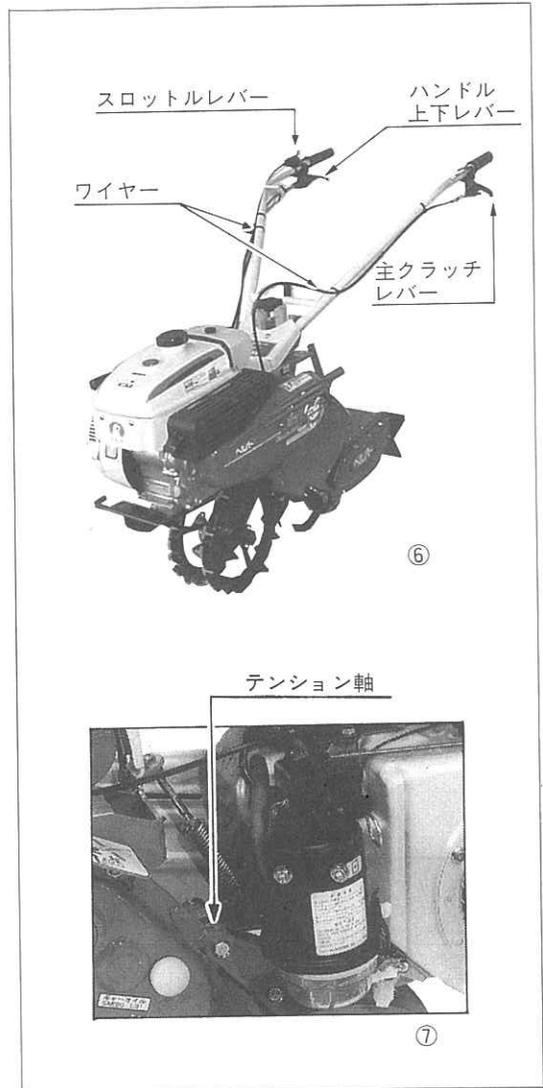
エンジンオイルを尾輪軸に塗っておくと回転がスムーズです。(写真5)



⑤

③ 摺動部注油箇所

- オイルはエンジンオイル
- 適量注油
各ワイヤー、レバー軸等 (写真6、7)



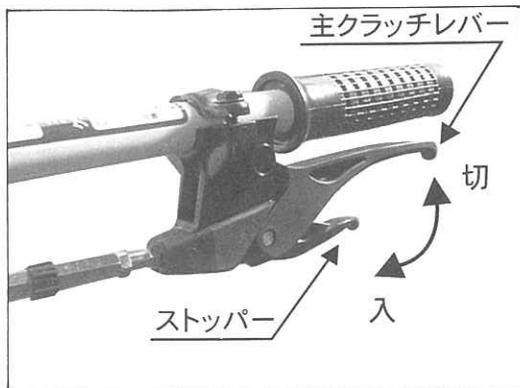
⑥

⑦

2 エンジンの始動

- 1) 主クラッチレバーを切にして下さい。

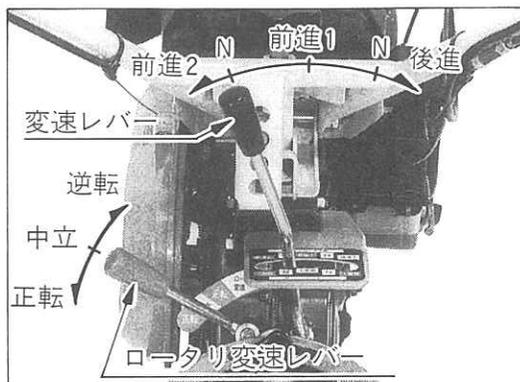
(写真8)



⑧

- 2) 変速レバーも中立の位置にして下さい。

(写真9)

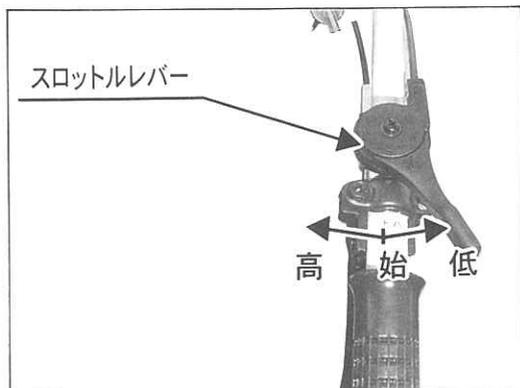


(写真はK25)

⑨

- 3) スロットルレバーを始動の位置にして下さい。

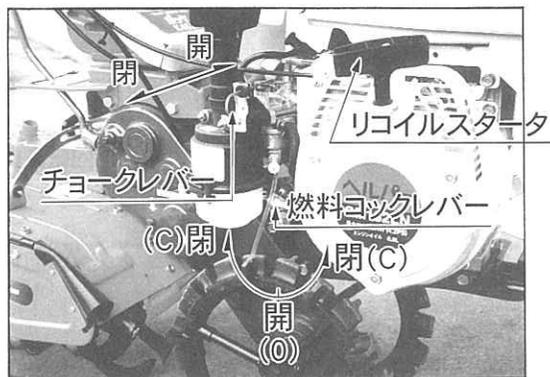
(写真10)



⑩

- 4) 燃料コックを開(O)にして下さい。(写真11)

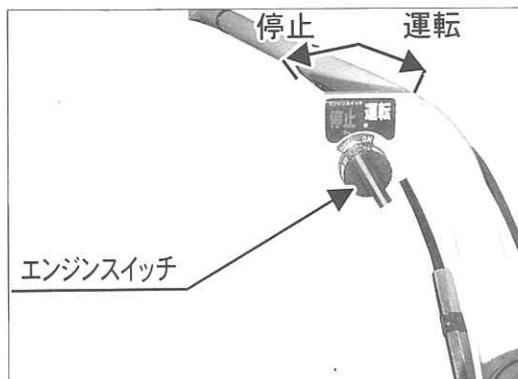
- 5) チョークレバーを閉じて下さい。(写真11)
エンジンが暖まっている時はその程度により半開又は全開にします。



⑪

- 6) エンジンスイッチを運転(ON)にします。

(写真12)



⑫

- 7) リコイルスタータを勢いよく引いて下さい。

(写真11)

戻すときは手を離さずに静かに戻して下さい。

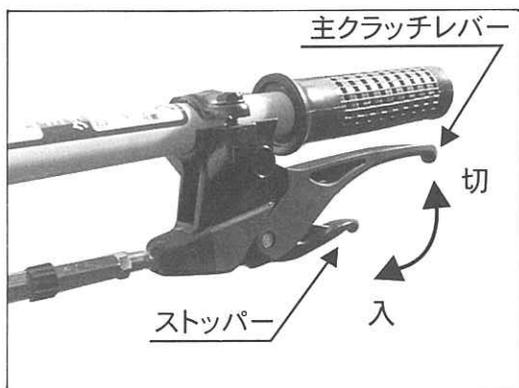
- 8) 始動したら回転の調子を見ながら、チョークレバーを徐々に全開にして下さい。(写真11)

- 9) 始動できない時は

- ・燃料は充分に入っているか。
- ・点火プラグを取外して湿っていないか。
- 火花は充分出ているか調べて清掃して下さい。

3 操 作

- 1) 主クラッチレバーを握って切にします。(写真8)
- 2) 変速レバーを作業に合せ前進又は後進にします。(写真9)
- 3) ロータリ変速レバーも作業に合せ正回転又は逆回転にします。(写真9)
- 4) スロットルレバーを操作してエンジンの回転数を上げる。(写真10)
- 5) 主クラッチレバーを握ってロックを外し、徐々に戻すとクラッチが入り発進します。(写真8)



⑧

- 6) スロットルレバーを操作し速度やロータリ回転を調節します。(写真10)

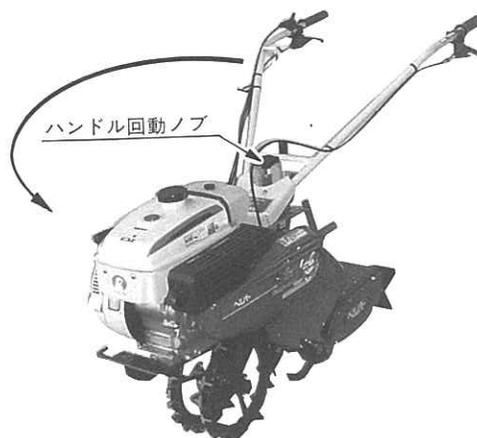
(注) ロータリの爪軸を回転させたまま後進すると大変危険です。必ず爪軸の回転を止めてから行って下さい。

- 7) 変速するときは必ずクラッチレバーを切ってから行って下さい。(写真8)

4 エンジンの停止

- 1) 主クラッチレバーを握って切りにします。(写真8)
- 2) スロットルレバーを低速に戻します。(写真10)
- 3) 変速レバーを中立にします。(写真9)
- 4) ロータリ変速レバーを中立に戻します。(写真9)
- 5) エンジンスイッチを停止(OFF)にします。(写真12)
- 6) 燃料コックを閉(C)にします。(写真11)
- 7) リコイルスタータのニギリをユックリ引いて重く手ごたえのある位置(圧縮位置)で止めておきます。(写真11)

5 ハンドル回転



ハンドル回転ノブを緩めて、ハンドルを180°回転して使用する時は走行速度が前後速逆になり、後進速度が速くなりますので、後進するときは足下や前後左右の安全を確認しエンジン回転を低速にし充分注意して行って下さい。

5 使用上の注意

工場から出荷のときは正しく調整していますが、使用による摩耗や伸びが生じますので点検再調整を行ない、損耗の限度をこえた部品は交換し正しく使用できる状態にして下さい。

正常な機能を発揮し、いつも安全な状態であるように《定期点検整備表》を参考に点検、整備をして下さい。

定期点検整備表

点検・整備項目		点検・整備間隔		毎日始業時	25時間	50時間ごと	100時間ごと	格納時
		新車時	シーズン前					
エンジン関係	エンジンクランクケース油量	給		点	交 初回のみ	交		交
	エアークリーナー 戸網	給		点		交		交
	燃料 ストレナー	点		点		掃		抜
	燃料 も れ			点				
	燃料 タンクの燃料	給		点				抜
	気化器の燃料							抜
	エンジン取付ボルト		点				点	
	エンジン各部の増締		点				点	
点 火 プ ラ グ		点				掃		掃
本機・ロータリ関係	ミッションケースの油量	給	点		交 初回のみ	交		
	各部の油もれ			点				
	各操作レバー、ワイヤーの注油	注		注				注
	車軸、耕うん軸のグリース	給		給				
	各操作レバーの作動	点		点				
	主クラッチの点検、調整	点		点			調	
	V ベルトの伸び			点	調 初回のみ	調		
各部取付ボルト、ナットの締付		点				点		

点→点検 注→注油 掃→掃除 増→増締 給→給油、脂、水 調→調整
 抜→抜取 交→交換

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因となります。

品番：220121100851006



関東農機株式会社

本社工場／本社営業所 〒323-0819 栃木県小山市横倉新田493
TEL 0285(27)3271(代) FAX 0285(27)4627
鏡石工場／福島営業所 〒969-0403 福島県岩瀬郡鏡石町久来石字大町57
TEL 0248(62)4131(代) FAX 0248(62)4133
盛岡工場／東北営業所 〒028-4132 岩手県岩手郡玉山村渋民20-55
TEL 019(683)1911(代) FAX 019(683)1119

九州営業所 〒866-0813 熊本県八代市上片町1351
TEL 0965(31)0730(代) FAX 0965(31)0760

製品の御相談は下記の販売店へ